

研究情報活動

1 研究成果の発表

(1) 研究論文及び雑誌記事

1) 評価・食料政策に関する研究

農林水産政策の評価に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
日本における新たな農業調整と農政改革の方向	嘉田良平	第3回韓日農業経営・情報化フォーラム報告論文集(韓国農村振興庁)		2003. 6
米生産調整対策の評価と政策見直しに関する検討	嘉田良平	農林水産政策研究所レビュー	9	2003. 9
諸外国における農産物セーフガード発動の現状と課題	勝又健太郎	農林水産政策研究	6	2004. 3
研究と行政	西尾 健	新農村技術新聞	1月15日	2004. 1
公共事業評価勘定による公共事業の評価	林 岳, 山本 充, 有吉範敏	環境経済・政策学会年報	8	2003.12
食料・農業・農村政策の体系化と政策評価——農林水産省の政策評価とその見直しのための試案——	吉井邦恒, 吉田泰治, 勝又健太郎	公共政策の決定に伴う多元的総合評価システムの構築に関する学際的基礎研究(平成14年度科学研究費補助金(BⅡ2)研究成果中間報告書)		2003. 7
アメリカ・カナダの農業経営安定対策をめぐる最近の動向	吉井邦恒	月刊NOSAI	55(8)	2003. 8
保険方式および積立方式に関するシミュレーション分析	吉井邦恒	月刊NOSAI	55(9)	2003. 9
収量変動と収入変動——農業者のリスク意識と保険——	吉井邦恒	2003年度日本リスク研究学会第16回研究発表会講演論文集	16	2003.11
カナダの新しい農業経営安定政策について	吉井邦恒	農林水産政策研究所レビュー	11	2004. 3

食料・農業・農村政策に関連する環境の評価に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
バイオマス利活用への道筋を探る——コスト削減と社会システムの構築にむけて——	嘉田良平	環境施設	92	2003. 6
環境こだわり農業にかかる環境便益調査報告書	嘉田良平 (共著)	(滋賀県)		2003. 9
共同利用たい肥センターにおける運営状況——運営主体及び処理料金に着目して——	久保香代子	循環利用政策と環境評価(循環利用プロジェクト研究資料)		2004. 3
農業由来の有機資源の循環利用に係る政策の評価手法の開発	合田素行	農林水産政策研究所レビュー	11	2004. 3
農業が持つ多面的機能について	篠原 孝	H14年度まちづくり市民大学講座記録集～農業と食～市民が創る農業と食のまちづくり		2003. 5
フードマイレージからみる地産地消の環境的役割	篠原 孝	食生活	97(5)	2003. 5

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
運搬エネルギーで見ると...輸入大国 環境に負荷	篠原 孝	朝日新聞	7月21日	2003. 7
廃棄物勘定による農業の有機性資源循環システムの把握	林 岳, 山本 充, 増田清敬	2003年度日本農業経済学会論文集		2003.11
地域における第1次産業の持続可能な発展に関する分析——北海道地方を事例とした環境・経済統合勘定の構築と推計——	林 岳	農林水産政策研究	6	2004. 3
地域における有機性資源リサイクルシステムの定量的評価——宮崎県国富町を事例として——	林 岳, 久保香代子, 合田素行	2004年度日本農業経済学会大会報告要旨		2004. 3
マクロ環境勘定による農林業の多面的機能の総合評価に関する研究	林 岳, 山本 充, 合崎英男, 出村克彦, 三橋初仁, 國光洋二	小樽商科大学商学討究	54(4)	2004. 3
有機性資源循環利用システム評価における勘定体系の適用	林 岳	循環利用政策と環境評価(循環利用プロジェクト研究資料)		2004. 3
CVMによる外部経済効果評価手法	矢部光保	農林水産業及び農林水産貿易と資源・環境に関する総合研究(農林水産技術会議事務局)		2003. 3
環境支払い制度	矢部光保	全国農業新聞	6月27日	2003. 6
Does a Large Sum of Estimated Value Mean High Quality of Multifunctionality ?	Mitsuyasu Yabe	Report of the Third Experts Meeting of the ASEAN-Japan Project on Multifunctionality of Paddy Farming and Its Effects in ASEAN Member Countries		2003. 6
農業の多面的機能——欧米と日本——	矢部光保	日本環境年鑑(創土社)		2003.11
農林業水産業における環境会計のフレームワークと政策評価	矢部光保	循環利用政策と環境評価(循環利用プロジェクト研究資料)		2004. 3
ハウステンボスにおける修復人工環境の価値評価	矢部光保	循環利用政策と環境評価(循環利用プロジェクト研究資料)		2004. 3
農業由来有機質資源の循環利用政策の変遷	山本昭夫	循環利用政策と環境評価(循環利用プロジェクト研究資料)		2004. 3

食料の国際又は国内需給の変動要因の解明と動向予測に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
アジアにおける市場統合と米需給の長期展望	井上荘太郎	国際食料需給の計量分析と資源制約問題(世界食料需給プロジェクト研究資料)	3	2004. 3
国際農産物需給モデルへの資源制約条件の導入——資源制約パイロットモデルの開発と利用——	井上荘太郎, 上林篤幸, 明石光一郎, 鬼木俊次	国際食料需給の計量分析と資源制約問題(世界食料需給プロジェクト研究資料)	3	2004. 3
中国の小麦需給と小麦市場の展開	李麗原, 井上荘太郎	アジアにおける食料需給と資源・環境問題(世界食料需給プロジェクト研究資料)	2	2003. 5

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
Projection of Myanmar's Rice Supply and Demand	Win Htut and Sotaro Inoue	アジアにおける食料需給と資源・環境問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	2	2003. 5
国際穀物需給の長期予測と耕地および灌漑地の利用可能性——資源制約パイロットモデルの開発と利用——	井上 荘太郎, 上林 篤幸, 明石 光一郎, 鬼木 俊次	農林水産政策研究	4	2003.10
穀物需給の長期予測と資源問題——資源制約パイロットモデルの開発と利用——	井上 荘太郎, 上林 篤幸, 明石 光一郎, 鬼木 俊次	農林水産政策研究所レビュー	10	2003.12
中国の農村地域における水環境汚染問題の一考察	劉啓明, 上林 篤幸	アジアにおける食料需給と資源・環境問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	2	2003. 5
環境・資源制約要因としての世界の土壌および水資源——世界食料需給予測の準備としての概観——	上林 篤幸	国際食料需給の計量分析と資源制約問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	3	2004. 3
資源制約下における国際穀物需給パイロットモデル——資源制約パイロットモデル——	上林 篤幸, 井上 荘太郎	国際食料需給の計量分析と資源制約問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	3	2004. 3
小さな赤いトラクター——イギリス農業者連盟の信頼回復への挑戦——	嘉田 良平	畜産コンサルタント	461	2003. 5
北見市農業協同組合における生産出荷動向	香月 敏孝	輸入が急増している野菜の国産産地動向・流通実態——たまねぎ——（野菜供給安定基金）		2003. 3
たまねぎに関する価格安定制度の効果の推計	香月 敏孝, 本間 孝弥	輸入が急増している野菜の国産産地動向・流通実態——たまねぎ——（野菜供給安定基金）		2003. 3
Progress of Vegetable Production in Japan : Analysis of the Agricultural Census	Toshitaka Katsuki	Farming Japan	37(3)	2003. 6
茨城県岩井市農業協同組合における生産出荷動向	香月 敏孝	輸入が増加している野菜の国内産地動向・流通実態——レタス——（農畜産業振興機構）		2004. 3
レタスに関する価格安定制度の効果の推計	香月 敏孝, 本間 孝弥	輸入が増加している野菜の国内産地動向・流通実態——レタス——（農畜産業振興機構）		2004. 3
転作は飼料増産につながるか——麦・大豆のような本格的助成は難しい——	篠原 孝	デーリイマン	53(4)	2003. 4
シンポジウム「食と農」食糧基地の未来考える	篠原 孝	北海道新聞	8月26日	2003. 8
レタスの輸入関数の推計	本間 孝弥	輸入が増加している野菜の国内産地動向・流通実態——レタス——（農畜産業振興機構）		2004. 3
表明選好データと顕示選好データの結合モデルによる選択実験——「選択外」オプションの影響評価——	矢部 光保, 吉田 謙太郎, アンドレアス・コントレオン	2003年度日本農業経済学会論文集		2003.11
日本の第1次産業統計	吉田 泰治	20世紀の奇跡（溝口敏行他編, 日本統計協会）		2003. 8

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
症例・対照研究	吉田泰治， 門平睦代	牛海綿状脳症(BSE)の感染経路 の調査について(農林水産省消 費・安全局牛海綿状脳症(BSE) に関する技術検討会，BSE 疫学検 討チーム， <a href="http://www.maff.go.jp/soshiki/s
eisan/eisei/bse/ekigaku.pdf">http://www.maff.go.jp/soshiki/s eisan/eisei/bse/ekigaku.pdf)		2003. 9
食料・農業	吉田泰治	統計でみる日本 2004 (日本統計 協会編)		2003.10

食料消費動向の解明及び食料消費政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
(書評) 大山利男『有機食品システムの国際的 検証』	足立恭一郎	農林水産図書資料月報	54(11)	2003.11
国産牛肉「トレーサビリティ・システム」の現 状と問題点	市田(岩田) 知子	生協総研レポート	40	2003. 7
食料・農業の危機管理システムの構築に関する 研究	嘉田良平， 木下順子， 矢部光保， 佐藤京子， 市田(岩田) 知子	農林水産政策研究所レビュー	8	2003. 6
(書評) ジェリー・A. カズウェル編著『食品安 全と栄養の経済学』	嘉田良平	農林水産図書資料月報	54(10)	2003.10
伝統的な食文化に見る食の基本	嘉田良平	くらしの豆知識 (国民生活セン ター)	24	2003.10
食品安全問題と「地産地消」	嘉田良平	日本環境年鑑 2003 (創土社)		2003.11
エキノコックス感染症に対する取り組み方 (1) ——リスク学からの展望——	嘉田良平	日本小動物獣医学会平成 15 年度 大会報告集		2004. 2
消費者保護へとシフトしたわが国の食品安全政 策	嘉田良平	セキュリティー研究	7(2)	2004. 2
食の国際化で問われる「食の豊かさ」	嘉田良平	セキュリティー研究	7(3)	2004. 3
食品の安全性を考える	嘉田良平	(日本放送出版協会)		2004. 3
ノンブランド牛乳普及事業の需要押し上げ効果 (その 1)	木下順子	酪農乳業情報センター (<a href="http://www.ndic.jp/comment
/8d863s0000006766.html">http://www.ndic.jp/comment /8d863s0000006766.html)		2003. 6
Agricultural Impacts of Biotechnology and Consumer Health Concerns on Farm Markets and Structure; A Pre-Approval Evaluation of rbST in Japan	Junko Kinoshita	International Consortium on Agricultural Biotechnology Research(ICABR) Paper pre- sented at the 7th International Conference (<a href="http://www.economia.uniroma2.
it/conferenze/icabr2003/papers
/papers.htm">http://www.economia.uniroma2. it/conferenze/icabr2003/papers /papers.htm)		2003. 7
ノンブランド牛乳普及事業の需要押し上げ効果 (その 2)	木下順子	酪農乳業情報センター (<a href="http://www.ndic.jp/comment
/8d863s0000008fp6.html">http://www.ndic.jp/comment /8d863s0000008fp6.html)		2003. 8

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
(翻訳) 国際酪農品市場の自由化とヨーロッパ酪農協の構造再編	木下順子	のびゆく農業	943	2003.10
酪農における乳量増加ホルモン剤 (rbST) の生乳需要への影響	木下順子, 鈴木宣弘	畜産の情報 (国内編)	1	2004. 1
CHAID による2002年牛乳消費動向調査データの分析——白牛乳をよく飲んでいるのはどんな消費者か——	木下順子	酪農乳業情報センター (http://www.ndic.jp/news/8d863s000000o0a9.html)		2004. 3
Produce Locally, Consume Locally and Produce Seasonally, Consume Seasonally	Takashi Shinohara	Farming Japan	37(4)	2003. 8
日本食人伝説	篠原 孝	食の井戸端会議	2	2003. 4
地産地消・旬産旬消が日本の農業と食を救う	篠原 孝	世界の農林水産	768	2003. 5
地産地消で地球にやさしく, 地方分権的な生き方を	篠原 孝	現代農業	5月増刊号	2003. 5
持続の文明——回帰という選択——食の寄生から地産地消	篠原 孝	東京新聞	9月13日	2003. 9

食料の生産から消費に至る供給システムの効率化及び安定化政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
アメリカの食料品流通加工コストの実態	上林篤幸	農林水産政策研究所レビュー	8	2003. 6
果実の小売流通コストと価格形成要因に関する実態調査報告書——アンケート調査結果を中心に——	香月敏孝, 松崎俊 (食品需給研究センター)	行政対応特別研究 [果実] プロジェクト研究資料	1	2003. 8
米国の長粒種と中粒種——先物市場の有無に関して——	小島泰友	FSニューズ・レター (日本フードシステム学会)	22	2003.12
小麦生産に対する価格支持・転作助成・生産調整の相互作用に関する実証研究——小麦をめぐる政策効果のラグ構造に関する計量分析——	小島泰友	2004年度日本農業経済学会大会報告要旨		2004. 3
安全・安心を戦略とした産地の動き	佐藤孝一	公庫月報	630	2003. 5
種苗産業における産業組織と技術革新の展開	立川雅司	戦後日本の食料・農業・農村第7巻 (農林統計協会)		2004. 3
食料の総輸入量・距離 (フード・マイレージ) に関する考察	中田哲也	2003年度日本フードシステム学会報告要旨集		2003. 6
これからのコメの流通・価格形成を考える——現行食糧法下での経験から——	薬師寺哲郎	農林経済	9528	2003. 5
食用農水産物・食料品のマージン率——産業連関表による時系列, 産業間及び日米間の比較——	薬師寺哲郎	行政対応特別研究 [流通] プロジェクト研究資料	1	2003. 6
農水産物・食料品の商業マージン率	薬師寺哲郎	2003年度日本フードシステム学会報告要旨集		2003. 6
農水産物, 食料品の流通コストを考える	薬師寺哲郎	FSニューズ・レター (日本フードシステム学会)	21	2003. 8
自主流通米の価格形成とその評価	薬師寺哲郎	農林水産政策研究所レビュー	9	2003. 9
自主流通米の「価格と流通」を振り返る——今後の米流通に向けて——	薬師寺哲郎	農産物検査とくほん	148	2003. 9
産業連関表を用いた食用農水産物・食料品の商業マージン率の推計——時系列, 産業間, 日米間比較——	薬師寺哲郎	農林水産政策研究所レビュー	10	2003.12

2) 地域振興政策に関する研究

農林水産業の経営構造及び農林水産業経営の発展のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
農業研修を核とした岡山県における新規就農対策の展開	江川 章	地方自治体等における新規就農受け入れ・支援の実態に関する調査結果（全国新規就農相談センター）		2003. 3
新規参入における経営創業と支援	江川 章	現代日本農業の継承問題（日本経済評論社）		2003.10
公的機関の関わりと担い手が育つ仕組みづくり	江川 章	青年農業者育成の研究	55	2004. 3
（論点）欧米農業と単純比較 無理	篠原 孝	読売新聞	4月23日	2003. 4
21世紀の都市・農村交流——向村離都の時代——	篠原 孝	いきいき いのち	4(3)	2003. 7
平成14年度農協の農業融資に関する調査	清水純一， 両角和夫， 茂野隆一 他	総研レポート（農林中金総合研究所）	15(5)	2003.10
茨城県における農業法人等による雇用研修の実態	鈴村源太郎	農業法人等における雇用研修の実態に関する調査結果（全国新規就農相談センター）		2003. 3
認定農業者の経営改善の取り組み状況に関するアンケート調査	鈴村源太郎	平成14年度経営情報総合調査分析事業・認定農業者経営実態分析調査事業，農業経営基礎調査結果報告書（全国農業会議所）		2003. 3
農業経営管理協会による意志決定支援	鈴村源太郎	農業経営管理論——アメリカの実践的農業経営マニュアル——（農林統計協会）		2003. 7
認定農業者の経営者意識と経営管理	鈴村源太郎	平成15年度日本農業経営学会研究大会報告要旨	2	2003.10
市町村農業公社における水稻作業受委託の収益性分析	鈴村源太郎	2004年度日本農業経済学会大会報告要旨		2004. 3
認定農業者の経営改善計画達成に有効な支援手法のあり方に関するアンケート調査	鈴村源太郎	平成15年度経営情報総合調査分析事業，農業経営基礎調査結果報告書（全国農業会議所）		2004. 3
稲作生産構造の変容と政策課題——1990年代前半・後半の構造動態の比較分析から——	橋詰 登	農林水産政策研究所レビュー	9	2003. 9
農協経営における営農指導事業の波及効果の時系列分析	吉野 章， 濱田秀和， 藤栄 剛	2004年度日本農業経済学会大会報告要旨		2004. 3
合鴨稲作農家の作付決定——危険回避と経験効果——	藤栄 剛， 井上憲一， 岸田芳朗	平成15年度日本農業経営学会研究大会報告要旨		2003.10
Trend of Farmer Population and Farm Labor Force in Japan	Tsutomu Matsuhisa	Farming Japan	38(1)	2004. 1
米政策改革下における助成金帰属問題——仙台市の取り組みを事例に——	渡部岳陽	2004年度日本農業経済学会大会報告要旨		2004. 3

農山漁村の社会安定化及び農林漁業者の福祉増進のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
介護保険は農村と都市の福祉サービスをどう変えたか	相川良彦	農林経済	9537	2003. 6

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
農村演劇運動の思想的系譜と展開過程——宮沢賢治の芸術論と長瀬村の戦後青年文化運動——	相川良彦	農林水産政策研究	4	2003.10
農村演劇運動の思想的系譜と展開過程——宮沢賢治の芸術論と長瀬村の戦後青年文化運動——	相川良彦	農林水産政策研究所レビュー	10	2003.12
地域通貨と地域の安定・維持方策の理解に向けて	合田素行	科研「ムラの崩壊」プロジェクト報告書		2004. 3
里地・里山のやすらぎ——長野県が長寿全国一の意外な（？）理由——	篠原 孝	長野県土地改良のしるべ	597	2003. 8
新しい地方農政への模索	柳 京熙	韓国農政研究センター	夏季号	2003. 8

農山漁村及び中山間地域等の経済の活性化政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
報告書の章別構成と論点	相川良彦	人口移住・地域再生方策と農の教育及び福祉機能（ライフスタイルプロジェクト研究資料）	1	2004. 1
食農同源——腐蝕する食と農への処方箋——	足立恭一郎	（コモンス）		2003. 9
（書評）高松修『有機農業の思想と技術』	足立恭一郎	農林業問題研究	39(2)	2003. 9
（書評）藤井絢子ほか編著『菜の花エコ革命』	足立恭一郎	土と健康	360	2004. 3
環境保全型農業と中山間地支援	嘉田良平	日本環境年鑑2003（創土社）		2003.11
Profitability of Organic Mandarin Oranges Based on a Strategy of Safety and Reliability ——In Relation to the Logistics Cost——	Koichi Sato	Farming Japan	37(6)	2003.12
農山漁村の明るい未来のために（記念講演要旨）	篠原 孝	都市農村交流	38	2003. 8
山間地域における多様な農林漁業体験活動の展開	鈴村源太郎	グリーン・ツーリズム体験ビジネスの展開（都市農山漁村交流活性化機構）		2003. 3
そば打ち体験を中心とした地域おこしの実践	鈴村源太郎	グリーン・ツーリズム体験ビジネスの展開（都市農山漁村交流活性化機構）		2003. 3
農山村における多様なグリーン・ツーリズム事業の展開と地域農業の接点	鈴村源太郎	農林水産政策研究所レビュー	8	2003. 6
ローカルなツーリズムと女性	中道仁美	緑地（鹿児島県農業農村振興協会）	177	2003. 4
“働く女性”はキーワード	中道仁美	技術と普及	40(6)	2003. 6
普及改革と地方自治	中道仁美	技術と普及	40(9)	2003. 9
農業ルネッサンス	中道仁美	技術と普及	41(3)	2004. 3
農山村自治体の地域活性化診断	橋詰 登	農林水産政策研究所レビュー	8	2003. 6
地域活力の得点化と動向把握の手法——主成分分析による市町村別活力の算出と動態分析への応用——	橋詰 登	長期金融	90	2003.10
農山村における地域活性化の指標体系化と活力診断	橋詰 登	日本地域政策研究	2	2004. 3
農業における新規参入者の経営成長に関する要因分析	藤栄 剛， 江川 章	2003年度日本農業経済学会大会報告要旨		2003. 4

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
農業における新規参入者の経営成長要因	藤 栄 剛 , 江 川 章	2003年度日本農業経済学会論文 集		2003.11
中山間地域問題の現局面と直接支払制度の位置 づけ——公・共・私の視点から——	渡部岳陽	農業問題研究	55	2004. 3

農山漁村及び中山間地域等の資源の保全及び利用高度化のための政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
農村の景観をどのように再生するか	合田素行	農村計画学会誌	22(4)	2004. 3
滋賀県環境農業直接支払い政策に対する消費者 の潜在意識とWTP——構造方程式モデルと CVMによる分析——	佐々木宏樹	2004年度日本農業経済学会大会 報告要旨		2004. 3
町のまんなかに川がある——水辺のアヤメの復 活を——	篠原 孝	長野県土地改良のしるべ	596	2003. 7
棚田学会第4回シンポジウム「棚田を活かす」	篠原 孝	日本の原風景・棚田	4	2003. 8
社会経済変動を踏まえた農地面積の動向予測—— 計量モデルによる分析結果について——	福田竜一	農林水産政策研究所レビュー	8	2003. 6
取引費用が農地取引に及ぼす影響に関する一考 察——探索と妥協を取り込んだ農地市場モデル の構築——	藤 栄 剛	農業経済研究	75(1)	2003. 6
農地転用と農家資産の因果関係に関する考察 ——Grangerの因果性検定を用いて——	藤 栄 剛	農業経営研究	41(1)	2003. 6
Eco-Friendly Farming in Japan	Takeshi Fujie	Farming Japan	37(4)	2003. 8
全国アンケート調査結果からみた合鴨稲作への 取組の特徴	藤 栄 剛 , 井上憲一 , 岸田芳朗	第14回全国合鴨フォーラムあお もり大会資料		2004. 2

3) 国際政策に関する研究

食料・農業・農村問題をめぐる国際関係の動向及び国際調整政策に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
資源制約下におけるオーストラリア農業の成長 過程——マクロ国際比較計量分析——	明石光一郎	資源制約下における世界主要国 の農業問題(世界食料需給プロ ジェクト研究資料)	4	2004. 3
親環境農業を目指す韓国農政の新機軸——直接 支払制度を戦略的に活用——	足立恭一郎	農業	1441	2003. 4
EUの条件不利地域政策	市田(岩田) 知子	改訂 農村計画学(改訂農村計 画学編集委員会編, 農業土木学 会)		2003. 5
CAP改革のデカップリング	市田(岩田) 知子	週刊農林	1862	2003. 8
EU条件不利地域における農政展開——ドイツ を中心に——	市田知子	農林水産政策研究叢書	5	2004. 3
アジアにおける米需給の長期展望とその含意—— 市場統合と土地・水資源の制約——	井上荘太郎	第14回国際開発学会全国大会報 告論文集		2003.11

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
ベトナム農業の発展と制約要因	岡江恭史	資源制約下における世界主要国の農業問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	4	2004. 3
ベトナム農村金融における集落の役割	岡江恭史	農林水産政策研究	6	2004. 3
移行経済における牧畜生産の趨勢と草地資源の問題——モンゴル国の事例——	鬼木俊次	資源制約下における世界主要国の農業問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	4	2004. 3
中国・モンゴルの牧畜業の発展と砂漠化問題——ミクロ経済学的アプローチ——	鬼木俊次， 双 喜	資源制約下における世界主要国の農業問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	4	2004. 3
（書評）Andrew Kimbell 編『Fatal Harvest』	嘉田良平	学證	100(6)	2003. 6
アフリカ食糧問題の構図	香月敏孝	資源制約下における世界主要国の農業問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	4	2004. 3
「水と食と農」大臣会合勧告の舞台裏	篠原 孝	農業土木学会誌	171(7)	2003. 7
ブラジル農業の発展と可能性——大豆におけるケーススタディー——	清水純一	資源制約下における世界主要国の農業問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	4	2004. 3
予防原則の適用をめぐって——フランス国際経済法文献のサーベイから——	須田文明	海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向（GMOプロジェクト研究資料）	3	2003.12
輸入農産物の評価と「信頼」概念の整理	立川雅司	生協総研レポート	40	2003. 7
中国における遺伝子組換え作物をめぐる規制・生産・流通の動向	立川雅司	海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向（GMOプロジェクト研究資料）	3	2003.12
「予防原則」の法理——環境法における論議から——	藤岡典夫	海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向（GMOプロジェクト研究資料）	3	2003.12
海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向	藤岡典夫， 立川雅司， 渡部靖夫， 矢部光保， アンドリアス・コントレオン， 須田文明， 足立恭一郎	農林水産政策研究所レビュー	11	2004. 3
開発途上国における農業開発の動向とSRI農法	水野正己	資源制約下における世界主要国の農業問題（世界食料需給プロジェクト研究資料）	4	2004. 3
Assessing the Impacts of Alternative 'Opt-out' Formats in Choice Experiment Studies	Andreas Kontoleon and Mitsuyasu Yabe	農林水産政策研究	5	2003.12
植物遺伝資源の利用から生ずる利益配分に関する世界の枠組み	山本昭夫， 長峰 司	日本育種学会第103回講演会要旨集		2003. 4
International Treaty on Plant Genetic Resources for Food and Agriculture + Convention on Biological Diversity	Akio Yamamoto	JICA 集団研修テキスト		2003. 6

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
生物多様性条約のインパクト	山本昭夫	科研費海外学術調査総括班ホームページ (http://www.aa.tufs.ac.jp/gisr/Renraku/Report/koen15y.htm)		2003. 9
最近の遺伝子組換え作物を巡る国際動向	渡部靖夫	製粉振興	442	2003.10
遺伝子組換え作物を巡る米・EU貿易摩擦問題について	渡部靖夫	海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向 (GMOプロジェクト研究資料)	3	2003.12

ヨーロッパ地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
(解題・翻訳) ヨセフ・ハリス『農業者はいかにして環境保全的に行動しうるか? ——ドイツのバーデン・ヴュルテンベルク州における質問調査から——』	市田(岩田) 知子	のびゆく農業	936	2003. 3
平成14年度ドイツ現地調査報告	市田(岩田) 知子	農業集落の崩壊過程に関する研究(平成13～15年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)中間報告書)		2003. 5
ドイツの有畜農業(1)——ブドウ農家と農家民宿を訪れて——	中井 裕, 大村道明, 市田(岩田) 知子	畜産の研究	57(7)	2003. 7
ドイツの有畜農業(2)——ブドウ農家と農家民宿を訪れて——	中井 裕, 大村道明, 市田(岩田) 知子	畜産の研究	57(8)	2003. 8
ドイツ農村における住民多様化と自治体の役割	市田知子	農業集落の崩壊過程に関する研究(平成13～15年度科学研究費補助金基盤研究(B)(2)研究成果報告書)		2004. 3
驚くべきフランスの水戦略——京都水フォーラム余話——	篠原 孝	長野県土地改良のしるべ	595	2003. 6
Support to Multi-functionality of Agriculture ——Case study of France——	Fumiaki Suda	Farming Japan	37(5)	2003.10
知識を通じた市場の構築と信頼——コンヴェンション経済学及びアクターネットワーク理論の展開から——	須田文明	進化経済学論集	8	2004. 3
(翻訳) コミュニティの新しい展望	中道仁美	『ビヨンド・ジェンダー——仕事と家族の新しい政治学——』(青木書店)		2003. 7
過疎農山村で求められるポテト人間とは?	中道仁美	技術と普及	40(12)	2003.11
CIS農業改革研究序説——旧ソ連における体制移行下の農業——	野部公一	農林水産研究叢書	3	2003.10
遺伝子組換え農産物に対する英国消費者の選好と環境意識——潜在クラスモデルによる選択実験——	矢部光保, アンドレアス・コントレオン	海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向 (GMOプロジェクト研究資料)	3	2003.12

アメリカ・オセアニア地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
実質同等性概念と米国政府、バイオテク企業の思惑——予備的考察——	足立恭一郎	海外諸国の組換え農産物に関する政策と生産・流通の動向 (GMOプロジェクト研究資料)	3	2003.12
ブラジル農業の実力と拡大可能性——米国の脅威となったブラジル農業——	清水純一	週刊農林	1868	2003.10
(座長解題) フードシステムにおける地域性と国際性	出村克彦, 立川雅司	2003年度フードシステム学会大会資料		2003. 6
遺伝子組換え作物と穀物フードシステムの新展開——農業・食料社会学的アプローチ——	立川雅司	農林水産政策研究所レビュー	9	2003. 9
遺伝子組換え作物と穀物フードシステムの新展開——農業・食料社会学的アプローチ——	立川雅司	農林水産政策研究叢書	4	2003.11
(解題) マイケル・ウッズ『新しい農村運動の出現——抗議する農村——』	立川雅司	のびゆく農業	945	2003.12
(書評) ボナンノ 他著『農業と食料のグローバル化』	立川雅司	フードシステム研究	10(3)	2004. 2
選択実験における「選択外」オプション形式の影響評価——食品における遺伝子組換え飼料含有率と生産情報に対する消費者選好	矢部光保	農林水産政策研究所レビュー	11	2004. 3

アジア・アフリカ地域の食料・農業・農村の動向及び政策の展開方向に関する研究

表 題	発表者	発 表 誌	巻・号	年・月
「蘇南型」郷鎮企業の成長と省内地域間の経済格差	伊藤順一	経済研究	54(4)	2003.10
「蘇南型」郷鎮企業の所有権改革と生産効率の変化	伊藤順一	アジア経済	44(11)	2003.11
中国内モンゴルおよびモンゴル国における地域的過放牧——牧畜民の家計調査の結果から——	鬼木俊次, 双喜	農業経済研究	75(4)	2004. 3
中国の農業法制建設の動向	河原昌一郎	農林水産政策研究所レビュー	11	2004. 3
内モン草原荒漠化問題及其防止対策研究	双喜, 額爾敦布和, 恩和	(内蒙古大学出版社)		2002.12
内モン西部地域におけるカシミア生産と草原環境問題	双喜	農業経営研究	41(2)	2003. 9
環境制約下の中国食糧生産	双喜, 鬼木俊次	資源制約下における世界主要国の農業問題 (世界食料需給プロジェクト研究資料)	4	2004. 3
戦後日本の農村社会開発における生活改善	水野正己	開発学研究	14(1)	2003. 7
戦後日本の生活改善の長期的にみた効果——愛媛県 T グループの40年間の活動を中心にして——	水野正己	第14回国際開発学会全国大会報告論文集		2003.11
農村開発における住民組織化——戦後日本の生活改善運動を中心にして——	水野正己	援助と住民組織化 (佐藤寛編著, アジア経済研究所)		2004. 3

(2) 講演及び口頭発表

講演者	演 題	講 演 会 名	発表年月日
足立恭一郎	ムダな農薬をかけていないか——カメムシ防除と米検査制度について考える——	大潟村環境創造21学習会（大潟村環境創造21）	2003. 8. 9
足立恭一郎	韓国の環境支払制度について	各国の環境支払制度に関する勉強会（大臣官房環境政策課）	2003. 9.24
足立恭一郎	食の安全を考える	わらび学びあいカレッジ（埼玉県蕨市）	2003.11. 5
足立恭一郎	私たちの食べ方が日本の食、農、環境の質を決める	特別講演（院生対象，三重大学生物資源学部）	2003.12. 9
足立恭一郎	食と農の再生方策	特別講演（学部生対象，三重大学生物資源学部）	2003.12. 9
市田（岩田）知子	農業環境政策と地域性——ドイツの事例から——	2003年度農業問題研究学会春季大会（農業問題研究学会）	2003. 4. 1
井上荘太郎，上林篤幸	国際農産物需給モデルと資源問題	第39回東北農業経済学会山形大会個別報告	2003. 8.26
井上荘太郎	アジアにおける米需給の長期展望とその含意——市場統合と土地・水資源の制約——	第14回国際開発学会全国大会	2003.11.29
江川 章	新規就農と支援方策	新規就農希望者研修（栃木県農業大学校）	2003. 6.17
江川 章	新規就農者の特徴と支援課題	農業を取り巻く環境変化と離職Uターンの実態（全国農地保有合理化協会）	2003. 6.25
江川 章	公的機関の関わりと担い手が育つ仕組みづくり	第22回全国青年農業者育成研究集会（全国青年農業者育成研究集会）	2003.11.27
岡江恭史	Tinh hình tin dung o Bach Coc（バックコック村における金融の実態）	Hoi Thao Khoa Hoc Tong ket 10 nam nghien cuu Bach Coc va lang xa Viet Nam（1993-2003）（バックコック・ベトナム村落研究10年（1993～2003年）総括研究会議，ハノイ大学）	2003. 8.20
岡江恭史	Viec vay von ngan hang va lang xa Nam Dinh（「銀行貸付とナムディン村落」）	経済研究所研究会（経済研究所）	2003.10.17
鬼木俊次，双 喜	中国内モンゴルおよびモンゴル国における地域的過放牧——牧畜民の家計調査の結果から——	2003年度日本農業経済学会大会	2003. 4. 3
嘉田良平	農業の多面的機能と環境支払い	多面的機能研究会（農村振興局）	2003. 4.18
香月敏孝	野菜産地の新たな展開方向	三豊の農業を支えるリーダー研修会（香川県西讃農業改良普及センター）	2004. 1. 9
木下順子ほか	Agricultural Impacts of Biotechnology and Consumer Health Concerns on Farm Markets and Structure: A Pre-Approval Evaluation of rbST in Japan	The 7th ICABR（International Consortium on Agricultural Biotechnology Research）International Conference, Ravello, Italy	2003. 7. 1
小島泰友	製粉産業の費用構造に対する小麦の価格支持政策の影響	2003年度日本フードシステム学会大会	2003. 6.15
小林茂典	日中韓野菜貿易の現状と展望	北東アジア農政研究フォーラム第1回セミナー（韓国農村経済研究院）	2003.10.28
合田素行	Social and Economic Implication of Maintaining Paddy Fields in Japan	OECD 農業と環境専門家京都会議報告	2003. 5.14
合田素行	The second step of understanding multifunctionality	The 4-th working Group of the ASEAN-Japan Project of multifunctionality of agriculture in ASEAN countries（ASEAN SECRETARIATE）	2004. 3.10
合田素行	The Environmental Policy in Rural Japan	JICA 研修	2004. 3.24

講演者	演 題	講 演 会 名	発表年月日
佐藤孝一	農産物直売所利用者の特徴とコスト問題	第39回東北農業経済学会山形大会個別報告	2003. 8.26
篠原 孝	地産地消・旬産旬消	食品リサイクル機器連絡協議会総会	2003. 4.14
篠原 孝	地産地消・旬産旬消	東京小島志塾4月例会	2003. 4.14
篠原 孝	WTO体制下における有機JASと国内農業の課題	有機JAS登録認定機関協議会総会	2003. 4.19
篠原 孝	地産地消のすすめ	佐田町農政協議会	2003. 4.20
篠原 孝	日本のフード・マイルージは世界一——地産地消・旬産旬消——	JA あいち助成協議会通常総会（JA あいち助成協議会）	2003. 4.30
篠原 孝	新しい研究「食の安全・フードマイルージ」地産地消で21世紀新しい循環型社会を！	国際フェアトレードフェスティン九州（国際フェアトレードフェスティン九州実行委員会）	2003. 5. 4
篠原 孝	フードマイルージ 地産地消・旬産旬消	女子栄養大学特別講義	2003. 5. 9
篠原 孝	地産地消・旬産旬消のすすめ	地方公共団体出身者による農林水産行政勉強会	2003. 5. 9
篠原 孝	食料安全保障について	国家戦略研究会（財務省）	2003. 6. 5
篠原 孝	食の安全なルールをどう創り出すか地産地消とは何か	食の未来に黙ってられない東北集会（食とみどり，水を守る福島県労農市民会議）	2003. 6. 6
篠原 孝	農山漁村の明るい未来のために	Jp.都市農村交流推進協議会定期総会	2003. 6. 9
篠原 孝	地産地消・旬産旬消と食の安全	食・農環境研究普及センター	2003. 6.10
篠原 孝	食と農の変化と都市農業	「東京都農業経営者クラブ」全体研究集会（東京都農業会議）	2003. 6.13
篠原 孝	環境にやさしい農業 農との関わりから食の安全を考える——地産地消・旬産旬消の勧め——	長野県消費者フォーラム（長野県生活文化課）	2003. 6.17
篠原 孝	農的循環社会について——地産地消・旬産旬消から考える——	流山市「第10回環境デー」(市民環境フォーラム・流山)	2003. 6.22
篠原 孝	地産地消と旬産旬消	地域農政研修会（全国市町村農業農村振興対策協議会）	2003. 6.25
篠原 孝	農的循環社会への道——地産地消・旬産旬消——	「農を考える」講演会（福島県会津坂下町）	2003. 6.27
篠原 孝	これでいいのか日本の食糧「農的循環社会への道——地産地消・旬産旬消——」	春の講座「これでいいのか日本の食糧」(箕面市教育委員会)	2003. 7. 5
篠原 孝	食はどうなっているのか——地産地消・旬産旬消の勧め——	PARC自由学校講義	2003. 7.12
篠原 孝	WTO農業交渉と私達の暮らし	WTO農業交渉に関するシンポジウム（北海道農業共同組合中央会，食農環境研究普及センター，北海道新聞）	2003. 8.22
篠原 孝	これからの農業・農村政策の方向	明日の長野県農業を語る会	2003. 8.23
篠原 孝	日本の農業と水需要の今後の展望	JAPIC講演会（日本プロジェクト産業協議会）	2003. 9.11
双 喜， 鬼木俊次 ほか	資源制約下の中国食糧生産	2003年度日本農業経済学会大会	2003. 4. 3
双 喜	中国内蒙古における草原砂漠化の要因と抑制策	中国農業科学院農業経済研究所学術講演会	2003. 8. 6
立川雅司 ほか	農村におけるボランティア・セクターの役割と位置づけに関する日加比較研究	日本村落研究学会自由報告	2003.10.10

講演者	演 題	講 演 会 名	発表年月日
立川雅司	社会科学的視点——フードシステムの観点から——	市民会議——食と農の未来と遺伝子組換え作物——(STAFF)	2003.11. 8
千葉 修	An Outline of Research Cooperative Activities in PRIMAFF	北東アジア農政研究フォーラム第1回セミナー(韓国農村経済研究院)	2003.10.28
中道仁美	変革時代の直売所とマーケティング——売上をのばすための直売所のあり方——	千葉県農業改良普及委員研修(千葉県農林水産部農業改良課)	2003. 7.17
中道仁美 ほか	Farmers' Response to the Policy on Less Favored Areas	20th Biennial Conference 2003, Work, Leisure and Development in Rural Europe Today (European Society for Rural Sociology)	2003. 8.21
中道仁美	パートナーシップの確立	白井市男女共同参画事業「市民企画講座」	2003.11.12
中道仁美	男女に輝き,ともに前進する地域づくりに向けて	平成15年度香取いきいき農業者フォーラム	2004. 2.16
西尾 健	リスクコミュニケーションとは	リスクコミュニケーション研修会(農林水産消費技術センター本部)	2003. 7. 8
西尾 健	食品の安全性とリスクアナリシス	改良普及員技術向上研修——農村生活——(岩手県農業研究センター)	2003. 8.25
西尾 健	食品の安全とリスクアナリシス	農政企画職員研修(農林水産省官房)	2003. 8.26
西尾 健	食品の安全性とリスクコミュニケーションについて	消費生活センター職員等ブロック研修(農林水産消費技術センター小樽センター)	2003. 9.24
西尾 健	農産物から重金属汚染を低減するための農業技術——カドミウム汚染リスクを減らす——(総合討論コメンテーター)	第23回農業環境シンポジウム 第1回日韓共同研究合同国際シンポジウム(農業環境技術研究所)	2003.11.21
橋詰 登	農業構造の新展開と地域農業の行方——農業センサスにみる構造変化の新たな動きとその要——	農林水産研究成果報告会(農林漁業金融公庫)	2003. 5.15
橋詰 登	地域活性化の指標体系化と農山村自治体の活力診断	日本地域政策学会第2回全国研究大会個別報告	2003. 7. 5
橋詰 登	地域活性化分析および農業構造予測の手法と応用	平成15年度統計調査企画分析研修(北陸農政局統計部)	2004. 2.27
橋詰 登	90年代における稲作構造変化の特徴と将来展望	平成15年度関東地域稲作構造確立検討会(関東農政局生産経営流通部)	2004. 3.10
林 岳 ほか	廃棄物勘定による農業の有機性資源循環システムの把握	2003年度日本農業経済学会大会	2003. 4. 3
林 岳 ほか	勘定体系による公共事業の総合評価	日本計画行政学会第26回大会	2003. 9.20
林 岳 ほか	環境経済統合勘定による農林業の環境便益と環境負荷の評価	環境経済・政策学会2003年大会	2003. 9.27
林 岳 ほか	農業由来の有機性資源および廃棄物の定量的評価における廃棄物勘定の適用	日本地域学会第40回大会研究報告	2003.11. 2
藤栄 剛	新規参入者の就農行動と自立化に関する計量分析	Theoretical Economics and Agriculture Conference (TEA会)	2004. 3.29
堀越孝良	農業経営形態の展開方向——主として農業センサス分析から——	2003年度日本農業法学会・年次学術大会	2003.11. 8
水野正己	戦後日本の農村社会開発における生活改善	日本国際地域開発学会2003年春季大会シンポジウム報告	2003. 4.25
薬師寺哲郎	農水産物・食料品の商業マージン率	2003年度日本フードシステム学会大会	2003. 6.15
薬師寺哲郎	自主流通米の価格形成とその評価	農林水産省政策評価会	2003. 6.30
矢部光保	CVMの基本的調査方法	中央大学公開研究会	2003. 6.21

講演者	演 題	講 演 会 名	発表年月日
矢部光保	Consumer Preferences and Attitudes for GM Foods: Estimating the Social Welfare of GM Labeling and Investigating the Importance of Preference Heterogeneity	The 7th ICABR (International Consortium on Agricultural Biotechnology Research) International Conference, Ravello, Italy	2003. 7. 1
矢部光保	Environmental Cost and Benefit Analysis	JICA 水資源開発研修	2003. 7. 7
矢部光保	CVMの最近の議論と研究動向	中央大学公開研究会	2003. 7.12
矢部光保 ほか	食の安心と環境意識の経済分析——選択実験における選択外オプションと顕示選好データの影響評価——	環境経済政策学会	2003. 9.27
矢部光保	A Challenge for Agricultural toward a Society with Natural Environmental Cycles——Comment——	The JSFM International Symposium, The Farm Management Society of Japan	2003.10. 4
矢部光保 ほか	環境支払いにおける農家の受容性	平成 15 年度日本農業経営学会研究大会個別報告	2003.10. 5
矢部光保 ほか	選択型コンジョイント分析によるトレーサビリティシステムについての考察	日本農業経営学会個別報告	2003.10. 5
矢部光保	農業のもつ多面的機能に関する研究——環境経済学的アプローチから——	第22回日中農業科学技術交流グループ会議（農林水産省）	2003.10.15
矢部光保	Concept of Multifunctionality and Economic Valuation	International Convention on Multifunctionality of Paddy Farming and its Effect in ASEAN Member Countries, Quezon City, Philippines, (ISSASS and ASEAN)	2003.11.10
矢部光保	Multifunctionality of Agriculture and its Evaluation in ASEAN Countries	Multifunctionality of Agriculture in Southeast Asia (The International Society for Southeast Asian Agricultural Sciences (ISSAAS))	2003.11.15
矢部光保	多面的機能に関する経済学的アプローチの現状と課題	第5回多面的機能維持増進調査検討委員会（日本土壌協会）	2003.12. 2
矢部光保	Concept of Multifunctionality and Valuation Method	ASEAN+3 Seminar on Multifunctionality of Agriculture (ASEAN and MAFF of Japan)	2003.12.10
矢部光保	消費者の食品に対する安心・安全意識と選択行動	日本食品工業倶楽部講演会	2004. 2.26
山本昭夫	ITPGRの背景にある国際動向——特にCBDとの関連で——	植物遺伝資源セミナー（農林水産政策研究所・農林水産技術会議事務局）	2004. 1.19
柳 京熙	和牛の改良とブランド育成	特別講義（韓国種畜改良協会）	2003.12.11
吉井邦恒	保険的手法を活用した農業経営安定対策のデザイン	第4回経営安定化政策に関する研究会（東北大学大学院農学研究科資源環境経済学講座）	2003. 5.30
吉井邦恒	政策評価と経営管理について	平成 15 年度農林水産省委託（第16期）組合等経営指導者養成研修会（全国農業共済協会）	2003. 7. 7
吉井邦恒	アメリカ・カナダの農業保険の現状と将来方向	平成 15 年度農林水産省委託（第39期）幹部職員養成講習会（全国農業共済協会）	2003. 8. 6
吉井邦恒	アメリカ・カナダの農業保険と現状・将来方向——わが国のNOSAIを考えるために——	平成 15 年度農林水産省委託（第40期）幹部職員養成講習会（全国農業共済協会）	2003. 9. 2
吉井邦恒	アメリカ・カナダの農業経営安定対策の動向	保険研究会	2003.10. 3
吉井邦恒	保険的手法の農業経営安定対策への活用について	平成 15 年度農林水産省委託（第41期）幹部職員養成講習会（全国農業共済協会）	2003.10.28

講演者	演 題	講 演 会 名	発表年月日
吉井邦恒	コメに関する収量保険と収入保険	農業共済役職員研修会（宮城県農業共済組合連合会）	2003.12. 1
吉井邦恒	アメリカ・カナダ等における経営安定対策について	直接支払いに関する検討会（全国農業会議所）	2004. 1.19
吉井邦恒	農業保険とWTO	農業保険に関する研究会（全国農業共済協会）	2004. 1.23
吉井邦恒	農業災害補償制度をめぐる変遷——収量保険と収入保険——	制度と制度改正に関するコンファレンス（千葉大学法経学部）	2004. 2. 8
吉井邦恒	米に関する収量保険と収入保険——共済データに基づく試算結果——	農業経営安定対策に関する研修会（秋田県農業共済組合連合会）	2004. 2.25
渡部靖夫	遺伝子組換え作物・食品を巡る国際情勢	フード連合（日本食品関連産業労働組合総連合会）政策勉強会	2004. 1.20